



松本 陽子 教授  
薬学博士

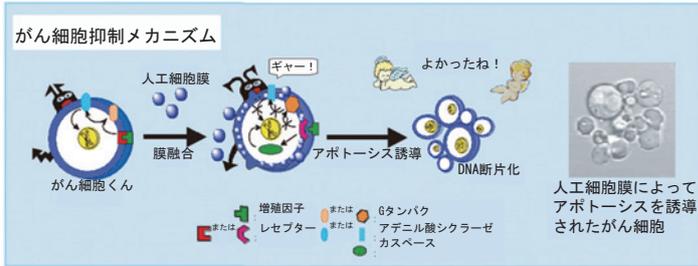


後藤 浩一 教授  
博士 (工学)



市原 英明 准教授  
博士 (工学)

●人工細胞膜 (ハイブリッドリポソーム) を用いた副作用のない  
難治性疾患 (がん、エイズ、リウマチ等) 治療薬の開発と臨床応用



臨床への応用 (国立病院との共同研究) と基礎研究!

人工細胞膜 点滴静注 鎖骨近辺静脈 1回/日

局所投与 右わき下固形リンパ腫に直接穿刺し注射 2~3回/週

腫瘍のエコー写真 (悪性リンパ腫が1/8に縮小)

20.9 × 30.5 (mm) → 10.9 × 16.7 (mm)

正常細胞膜 vs がん細胞膜

正常細胞膜: 膜のバランスが崩れずに保たれている 膜流動性小: 硬い膜

がん細胞膜: 膜のバランスが乱れ、無秩序性が増大している 膜流動性大: 軟らかい膜

人工細胞膜が正常細胞とがん細胞を見分けている。

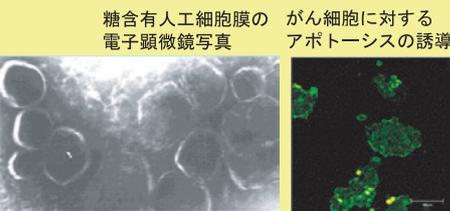
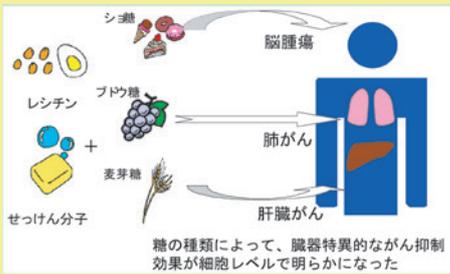
アメリカ国立がん研究所 (NCI) H.P.にて紹介 (2006年10月16日)

がん細胞膜をターゲットにする制がんメカニズムの発見!!

延命効果が確認され、東京新聞などで報道 (2001年)

●天然素材 (大豆、焼酎粕、糖、味噌、海苔等) から  
難病治療薬・化粧品へ進化

糖で治療薬開発を目指す!



患部に薬剤運ぶ「脂質膜」ががん細胞破壊の働きも

崇城大 応用生命科学科 松本 陽子 教授

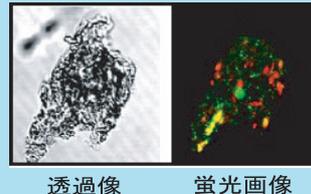
熊本日日新聞 2005年2月18日

焼酎粕・味噌が医薬品に生まれ変わる!

●焼酎蒸留粕

焼酎粕パウダーが、がん細胞にアポトーシス (緑・黄色部分) を誘導することで、がん増殖を抑制することが可能!

副作用のない制がん剤へ!



●味噌

味噌に含まれる脂肪酸が、がん細胞のアポトーシスを誘導!

みそ、魚油に含まれる脂肪酸 がん細胞の死滅促す

崇城大 応用生命科学科 後藤 浩一 教授 上岡 龍一 名誉教授

